



物部川こども祭

5月31日、健康センターセレネ広場で第4回物部川こども祭が開催されました。『こどもの文化を発信』『物部川流域の交流と活性化』をテーマに開かれ、約4,500人の来場者でにぎわいました。

会場には、物部川流域のうまいものを販売する模擬店が軒を連ね、竹とんぼ作りやこけ玉作り、木のおもちゃ遊びなどの体験コーナーに多くの人が集まっていました。

5月に完成し、この日こけら落としが行われた広場のステージでは、こども蕨生太鼓や高知工科大学吹奏楽部の演奏のほか、高知県警察のマホルマンショーなどが行われ、大いに盛り上がりました。



剣道錬成大会

4月29日、香北体育センター（香北町吉野）で第10回香美市体力づくり少年剣道錬成大会が行われました。市内外の学校・団体から66チーム、335人が参加し、小学生・中学生・高校生の3部門で熱戦が繰り広げられました。市内関係者は次のような成績を収めました。

- 高校生の部（個人）3位 門脇京志朗（山田）
- 中学生の部（個人）3位 矢野心都（鏡野）

川上様の天井絵お披露目 著名漫画家らの協力で

5月24日、大川上美良布神社社務所の天井絵がお披露目されました。

これは、地域内外からより多くの方に神社を訪れてもらおうと企画されたものです。ちばつやさんや里中満智子さんのほか、『コボちゃん』の植田まさしさん、高知県出身の西原理恵子さんら、呼び掛けに応えた漫画家たちが協力し、干支や四神をテーマにしたイラストを独自の感性で描きました。

イラストの描かれた31枚の木板は、社務所2階の天井に設置され、一般観覧も可能です。厳かな雰囲気の中、ほっと心が和むような空間となっています。『まんが王国・土佐』に新しい名所ができました。



山田ジュニアーズ準優勝

4月4日に、県内68チームが出場して開幕した第39回鯉のぼり大会で、山田ジュニアーズが見事準優勝の好成績を収めました。

これにより8月21日から佐賀県で行われる第28回虹の松原旗争奪軟式野球大会に、高知県代表として出場することとなりました。

山田ジュニアーズでは団員を随時募集しています。毎週土曜日・日曜日に宝町グラウンドで練習していますので、お気軽に見学に来てください。



よしととひうたが やってきた！

5月17日、健康センターセレネ広場の新設ステージで、よしととひうたがやってくると題し、新感覚紙芝居が上演されました。（公財）やなせたかし記念アンパンマンミュージアム主催。

これは紙芝居作家・紙芝居師のよしとさんとシンガーソングライターのひうたさんのコンビが、紙芝居と音楽をミックスさせて上演するもので、子どもたちが歌って踊れる参加型の紙芝居です。

快晴の空の下、親子連れらはのんびりと腰を掛け、ステージで展開される物語に見入っていました。軽快なギターの色と共に歌が始まり、そのリズムに合わせて子どもたちは手拍子を打って、「よしととひうた」の世界を満喫していました。



交通安全指導員に感謝状

5月22日、高知県交通安全指導員協議会通常総会が開催され、萩野雅生さん（物部町）が、高知県交通安全指導員勤続30年知事感謝状を受賞されました。これは、交通安全指導員として昭和60年から30年の長きにわたり、地域の交通安全のために尽力してこられた功績に対し贈られたものです。

また同日、高知県交通安全指導員功労者表彰も行われ、平成17年より交通安全指導員として尽力してこられた池口秀光さん（香北町）が受賞されました。



▲萩野雅生さん



香美市をよくする！こども会議

5月16日、小中高生が香美市をよくするための取り組みを考え、実現を目指す香美市こども会議が、香美市役所で開催されました。

これは教育委員会が企画したもので、会議の議事進行や事業計画、そして計画を実現していくための活動まで、子どもたちが主導して行うものです。

当日は、市内全11校から児童生徒45人が参加。それぞれの学校の取り組みを発表した後、それに対する意見や質問が積極的に交わされ、「香美市をよくするために自分たちができること」を時間いっぱい議論しました。具体的な活動や計画については今後検討する方針を決め、会議を終えました。これからの活動に期待が膨らみます。



▲歌碑の解説を熱心に聞く参加者たち

5月23日、香北町猪野々で、吉井勇の歌碑をめぐるウォーキングイベントが開催されました。

7人の参加者は、新緑と棚田が広がる風景の中、風を感じながら、勇の足跡が残る道を歩きました。

歌碑を巡りながら、記念館の職員が猪野々の神社や文化の解説をし、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。昼食には猪野々集会所で田舎ずし弁当を食べ、参加者の方からは、「また歩きたい」とのうれしい声が上がっていました。